



## 2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月6日

上場会社名 ミヨシ油脂株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4404 URL <https://www.miyoshi-yushi.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 三木 逸郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 妹尾 泰三 (TEL) 03-3603-1149  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日~2025年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	43,760	3.8	1,150	△60.9	1,129	△62.4	9,152	228.8
2024年12月期第3四半期	42,166	1.9	2,944	100.1	3,004	85.5	2,783	121.1

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 10,085百万円(283.8%) 2024年12月期第3四半期 2,627百万円(△8.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	897.75	—
2024年12月期第3四半期	273.43	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	81,418	40,553	49.8
2024年12月期	72,706	31,067	42.7

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 40,510百万円 2024年12月期 31,028百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	—	—	60.00	60.00
2025年12月期	—	—	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	—	—	100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日~2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,300	△1.3	2,370	△20.0	2,130	△29.2	9,680	243.4	950.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有  
新規 1社(社名) MIYOSHI OIL & FAT MALAYSIA SDN. BHD. 、除外 —社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年12月期3Q	10,306,895株	2024年12月期	10,306,895株
2025年12月期3Q	105,661株	2024年12月期	132,927株
2025年12月期3Q	10,194,917株	2024年12月期3Q	10,181,295株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2025年1月1日~2025年9月30日)における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、景気は緩やかな回復基調を維持しておりますが、米国の通商政策による影響や、諸物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当油脂加工業界におきましては、エネルギー価格や原材料価格の高止まりに加え、人件費や物流費等の諸費用の上昇により、厳しい経営環境が続きました。

このような状況のなかで当社グループは、「第二次中期経営計画(2025年~2027年)」の初年度として、外部環境の変化への対応に取り組みながら、前中期経営計画において構築した事業の成長基盤を活用した食品事業の進化と油化事業の深化による継続した成長を目指し、販売価格の適正化や主力製品を中心とした拡販により収益の確保に努めるとともに、市場ニーズを取り入れた製品の開発、積極的なマーケティング活動を通じた市場開拓に取り組みました。その一方で、利益面においては、前期から発生していた本社移転関連費用の計上や、人件費、物流費等の諸費用の増加の影響を受ける結果となりました。

この結果、売上高は43,760百万円(前年同期比3.8%増)、営業利益は1,150百万円(前年同期比60.9%減)、経常利益は1,129百万円(前年同期比62.4%減)となりましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益は、2025年6月19日付で公表いたしました本社事務所等として利用していた土地の譲渡手続き完了に伴い、固定資産売却益を特別利益として計上した結果、9,152百万円(前年同期比228.8%増)となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。

## ① 食品事業

食品事業につきましては、インバウンド需要の活況を背景とした外食産業や土産菓子業界の旺盛な需要が継続するとともに、当社の主要取引先である製パン、製菓等の業界の需要が堅調に推移しました。

このような状況のなか、主力製品であるマーガリン・ショートニング・粉末油脂等の拡販を推進し、収益拡大を図るとともに、各種原材料・資材の見直しや生産効率の改善等に加え、原材料費、人件費、物流費等の各種コストの上昇に対応すべく販売価格の改定を行い収益性の強化を図りました。また、昨今のカカオ不足等に対応した製品や味やおいしさに特化した製品など、市場ニーズに即した新製品の開発と拡販に努めるとともに、国内外の各種展示会への出展や、自社Webサイト等のデジタルツールを活用した販売促進活動にも注力し、新規市場と新規顧客の開拓を推進いたしました。

この結果、売上高は31,010百万円(前年同期比5.8%増)となりましたが、利益面においては、前期から発生していた本社移転関連費用の計上や、人件費、物流費等の諸費用の増加の影響により、営業利益は640百万円(前年同期比66.6%減)となりました。

## ② 油化事業

工業用油脂製品につきましては、主要需要先である自動車、タイヤ、塗料等の業界の需要が堅調に推移するなか、原料価格の変動に対応した適正価格での販売により収益確保に努めました。

界面活性剤関連製品につきましては、紙・パルプ分野の家庭紙用柔軟保湿剤は、主要原料価格上昇と海外需要の低迷により低調に推移しました。トイレタリー分野につきましては、シャンプーおよびクレンジング製品の需要が堅調に推移するなか、これらの原料基剤の拡販に注力しましたが、環境関連分野では、ごみ焼却場向け飛灰用重金属処理剤の販売が低迷しました。

この結果、売上高は12,498百万円(前年同期比1.1%増)となりましたが、利益面においては、前期から発生していた本社移転関連費用の計上や、人件費、物流費等の諸費用の増加の影響により、営業利益は283百万円(前年同期比71.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ8,711百万円増の81,418百万円となりました。主な増加は現金及び預金5,263百万円、有形固定資産その他3,232百万円です。

負債は、前連結会計年度末に比べ773百万円減の40,865百万円となりました。主な減少は借入金2,235百万円、支払手形及び買掛金450百万円であり、主な増加は繰延税金負債1,789百万円です。

純資産は、前連結会計年度末に比べ9,485百万円増の40,553百万円となりました。主な増加は利益剰余金8,465百万円、その他有価証券評価差額金1,030百万円です。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末の42.7%から49.8%に増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の業績予想につきましては、2025年2月10日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,071	12,334
受取手形及び売掛金	15,151	13,149
電子記録債権	2,898	2,656
商品及び製品	2,865	3,489
仕掛品	715	1,021
原材料及び貯蔵品	3,971	4,277
その他	1,263	710
貸倒引当金	△174	△167
流動資産合計	33,763	37,472
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,603	3,734
機械装置及び運搬具（純額）	3,677	3,647
土地	7,463	6,716
リース資産（純額）	7,016	6,754
その他（純額）	526	3,758
有形固定資産合計	22,286	24,611
無形固定資産		
その他	1,583	1,741
無形固定資産合計	1,583	1,741
投資その他の資産		
投資有価証券	10,356	10,774
退職給付に係る資産	4,150	4,230
その他	587	2,609
貸倒引当金	△21	△21
投資その他の資産合計	15,073	17,592
固定資産合計	38,943	43,945
資産合計	72,706	81,418

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,535	11,085
電子記録債務	802	420
短期借入金	6,835	4,835
1年内返済予定の長期借入金	2,250	2,250
未払法人税等	741	2,243
設備関係電子記録債務	830	684
その他の引当金	3	19
その他	2,563	2,573
流動負債合計	25,562	24,112
固定負債		
長期借入金	3,535	3,300
繰延税金負債	2,126	3,916
役員株式給付引当金	87	58
退職給付に係る負債	2,488	2,431
リース債務	7,102	6,810
その他	736	236
固定負債合計	16,076	16,753
負債合計	41,639	40,865
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,015	9,015
資本剰余金	5,492	5,492
利益剰余金	11,253	19,719
自己株式	△188	△152
株主資本合計	25,572	34,074
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,388	5,418
為替換算調整勘定	-	46
退職給付に係る調整累計額	1,067	971
その他の包括利益累計額合計	5,455	6,436
非支配株主持分	39	42
純資産合計	31,067	40,553
負債純資産合計	72,706	81,418

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	42,166	43,760
売上原価	33,110	35,579
売上総利益	9,056	8,180
販売費及び一般管理費	6,111	7,029
営業利益	2,944	1,150
営業外収益		
受取利息	1	37
受取配当金	177	163
持分法による投資利益	20	-
その他	75	214
営業外収益合計	276	416
営業外費用		
支払利息	165	384
持分法による投資損失	-	1
その他	50	51
営業外費用合計	215	437
経常利益	3,004	1,129
特別利益		
固定資産売却益	-	12,365
投資有価証券売却益	932	-
特別利益合計	932	12,365
特別損失		
有形固定資産除却損	110	296
関係会社株式評価損	16	-
社葬関連費用	-	20
特別損失合計	126	316
税金等調整前四半期純利益	3,809	13,179
法人税、住民税及び事業税	1,061	2,641
法人税等調整額	△27	1,382
法人税等合計	1,034	4,023
四半期純利益	2,775	9,155
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,783	9,152



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	2,775	9,155
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△52	1,030
為替換算調整勘定	-	△5
退職給付に係る調整額	△96	△95
その他の包括利益合計	△148	929
四半期包括利益	2,627	10,085
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,635	10,082
非支配株主に係る四半期包括利益	△8	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

前連結会計年度まで非連結子会社であったMIYOSHI OIL & FAT MALAYSIA SDN. BHD. は、重要性が増したことに伴い、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。なお、MIYOSHI OIL & FAT MALAYSIA SDN. BHD. は当社の特定子会社に該当しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	食品事業	油化事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	29,320	12,359	41,679	486	42,166	—	42,166
セグメント間の内部売上高 又は振替高	94	80	175	107	282	△282	—
計	29,415	12,439	41,855	594	42,449	△282	42,166
セグメント利益	1,916	994	2,911	32	2,944	—	2,944

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、原料油脂等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	食品事業	油化事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	31,010	12,498	43,509	251	43,760	—	43,760
セグメント間の内部売上高 又は振替高	90	110	201	435	636	△636	—
計	31,100	12,609	43,710	686	44,396	△636	43,760
セグメント利益	640	283	923	227	1,150	—	1,150

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、原料油脂等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

- 1 当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	1,448百万円	1,277百万円